

# そらこめ通信

No.81 2017年4月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

今年は雪が少なかったことに加えて、3月の気温が比較的高めに推移したことから思った以上に雪解けが早く進んでおります。おかげさまで春の作業は順調です。この時期の農家はどれも大忙し。大型機械による苗床の除雪が済むと、育苗ハウスの組み立て作業、圃場における融雪剤の散布、種まきに使う土の製造、苗床の整備など次から次へと作業をこなします。4月中旬には種まきが始まり、その後は田起こし、代かき、田植え等々…。その間、ハウスでの若苗の温度管理など気を抜く間がありません。例年だと、田植え作業が終わるのは5月下旬頃です。

弊社の農地面積は全部で約33ha。そのうち26ha余りが水田で、残りはソバです。水稲では直販用含めて昨年同様5つの品種(ななつぼし、ゆめぴりか、ゆきさやか、おぼろづき、きたくりん)を今年も栽培する予定です。また、これら5品種のほか北農研から譲り受けた2品種を試験的に作る予定です。これら2品種は近年登録されたばかりの新品種です。作付量が少ないため今のところ販売の予定はありませんが、食味はどうかなど、弊社の土壌との相性を1年かけて検討したいと考えています。

話は変わりますが、昨年末に検査機関に依頼していた土壌検査の結果が先月返ってきました。翌期の施肥設計の参考にするために、収穫後に土のサンプルを採取し検査を始めて今年で6年目になります。毎年代わり映えない数値が並んでいますが、継続こそが力だと思っていて今年も頑張りたいと思います。



土壌改良剤を兼ねた融雪剤「ミネカル」及び「ケイカル」の散布(3月18日)



ケイ酸を多く含む粒状ケイカルを保証書



育苗ハウスの組み立て～ビニールテントを被せる作業(3月19日)



農水省から配布された農作業安全ステッカー



育苗ポットの土作り(3月21日)



冬の間に作り続けた「もみ殻の燻炭」を育苗ポットの土に混ぜ込みます(3月21日)



苗床の除雪作業(3月14日)



地元で毎年行われる地神宮祭(3月14日)



融雪剤の散布～運転席から撮影(3月14日)



育苗ハウスの組み立て作業～ハウスは全部で11棟あり、うち8棟が水稲用(3月17日)



直近の土壌検査の結果一覧表(3月17日)



雪化粧したハウス(3月23日 早朝)



ハウスの天井部分に灌水パイプを設置しています(3月23日)



農作業繁忙期を前に、事故防止に向けて農水省から過去の事故事例等の報告がなされています。農作業中の事故は思いのほか多く、いわゆる危険な業種と言われている製造業や建設業などを確率ではるかに凌ぐとされています。少し古いですが2000年の事故調査によれば、草刈機、トラクター、軽トラ、コンバイン等農機6種で農機事故の6割、鎌、脚立、はしごの3種の事故で用具事故の6割なんだそう。これらの事故も最近が高齢化などにより増加傾向なのだから、農作業こそ安全第一で進めたいものですね。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です